

唐松岳山行報告

(山域) 北アルプス北部

(コース) 八方池山荘—丸山—唐松岳

(日時) 5月5日(金)

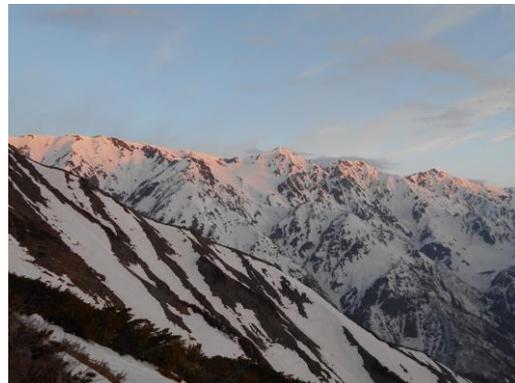
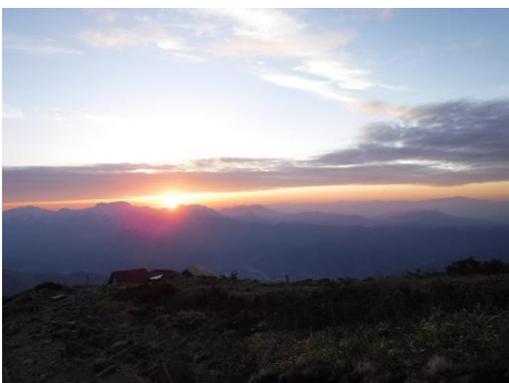
(参加者) CL室、吉瀬、鈴木(愛)記録下重

(山行タイム)

八方池山荘 4 : 40 分—丸山 9 : 20 分—唐松岳山頂 1 2 : 0 0—八方池山荘 1 4 : 2 0

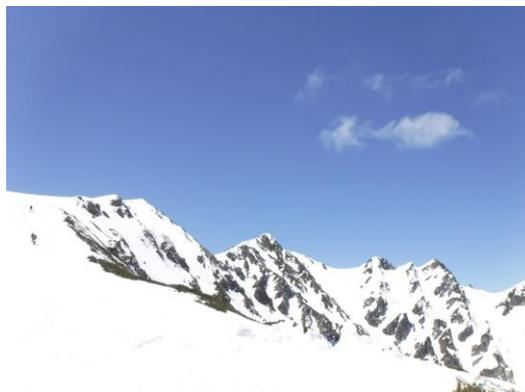
(山行記録)

5月5日(金)に北アルプス北部・唐松岳を登ってきました。八方山荘を出発後、すぐに日の出を見ることができました。雪に覆われた山々が赤く染まり、とても美しかったです。雲もなく、白馬岳の稜線がはっきり見え、綺麗でした。



登り始めてすぐは岩場が続き、硬く重い冬靴は少しつらかったですが、しばらくすると雪道になりました。雪は水分を含み重く、靴底につくような湿ったものでした。

登り出してから1時間もすると、気温が高くなったため少し雲が出てきて、綺麗だった白馬の稜線を覆ってしまいました。長めの休息の後、1時間程度歩き唐松山荘につきました。



山荘で重い荷物を置き、ピッケルなどの最低限の装備だけを持ち、唐松岳山頂に向けて出発しました。途中、天然記念物の「雷鳥」に出くわしました。唐松山荘から30分も歩くと山頂に到着できました。比較的雲が多かったですが、遠方に見える剣岳など非常に美しい風景を眺めることができました。写真をとったり、風景を堪能した後、下山を始めました。下山を開始してすぐ、雲が晴れ濃く澄んだ青い空が出てきました。また、雲に覆われていた白馬岳が再び顔を出しました。



20分程歩き、唐松山荘に戻りました。唐松山荘では正面に見える剣岳をバックに記念写真を撮り、少し休息をとった後、出発しました。気温はかなり暖かく、「千葉より暑いかも」と思わせるほどでした。対面で登ってくる他の登山客も半そでの方が多かったです。

気温が高くなったためか、雪どけが進んだようで一層水分を含んだ雪になっていました。途中、再び丸山ケルンで休息をとりつつ、無事に八方池山荘にもどりました。最後に桜が満開の季節だったため、桜の写真を載せ山行報告を終わります。

